

平成20年度水産研究所試験研究課題一覧

試験研究の基本的推進方向	研究課題名	内容	研究期間	担当	
産業として自立する農林水産業者の経営を支える新技術開発	商品性の高い農林水産物生産技術	アオリイカの鮮度保持技術の確立による市場拡大戦略	市場価値の高い高鮮度のアオリイカを輸送し、販売するための技術を開発する。温度管理したアオリイカを秋冬季に東京市場に鮮魚出荷することにより高い評価を得ている。今後は夏期の鮮度管理と活魚出荷について検討する。	H18～H20	海洋生産技術
		徳島県産ハモの販売促進を図るための、差別化及び品質向上技術開発	本県のブランド品目であるハモの生産量は、全国トップクラスであり、ブランド化が進められている。徳島産ハモが量だけでなく品質においても市場で高い評価を受けるように、漁獲後の船上での取り扱い方法を改善することにより徳島産ハモの販売促進を強力にバックアップする。	H20～H22	海洋生産技術
		海域特性にマッチした高品質ワカメ品種の確立	漁場環境及び地域の利用目的に合った優良品種の選抜をおこない、鳴門ワカメのブランド力を高める。	H19～H21	環境増養殖
		ノリ育苗技術開発試験	本県の現在の漁場環境に合った育苗管理技術を開発するとともに、陸上育苗技術の開発を行い種網確保の一助とする。	H19～H21	環境増養殖
		イワガキ養殖試験	イワガキの養殖技術の開発。	H16～H20	環境増養殖
省力・低コスト安定生産技術	資源管理に必要な情報提供事業	新漁業管理体制下での適切な操業支援、調査体制の一層の整備を目的に、沿岸域における漁海況情報の収集・分析・提供を行うとともに地域レベルでの漁海況情報の提供を行う。	H9～H21	海洋資源	
	「虹」の効率的漁法の確立	曳き縄漁業、定置網、はえ縄漁業などの小規模沿岸漁業において、LEDを利用することによる漁獲量増大効果を、試験操業・標本船調査などをおこない検討する。	H19～H20	海洋資源	
	燃料経費削減のためのシラス魚群マップ即日配信システムの開発	漁業調査船に搭載された計量魚探の2周波を用いてシラスの魚群量を定量し、水温等海況情報と重ねて海図上に表示の上、即日配信するシステムを構築する。これにより、船曳網漁業者の漁場探索経費が節減され、損益分岐を考慮した出漁判断に貢献する。	H19～H21	海洋生産技術	
	小型封入容器による省力・低コスト型アマモ場造成技術の開発	公共事業から市民活動まで幅広く活用できる省力・低コスト型アマモ場造成技術を開発することを目的として、封入容器の開発を中心とした播種技術の開発およびその効果の検証をおこなう。	H20～H22	環境増養殖	
	「かいふの海藻」育成事業	アラメ、モズク、ヒジキの増養殖技術の向上を図り、生産の効率化を行うことにより、海部地区の海藻製品の生産拡大に資する。	H19～H21	増養殖	
県民の暮らしとをのちを支える農林水産生産技術の開発	安心安全な農林水産物生産技術	バクテリオファージを用いた魚類細菌感染症の防除技術の開発	細菌の天敵ウイルスであるバクテリオファージを利用して、魚類細菌感染症に対する新しい治療法および予防技術(ファージ療法)を開発する。	H18～H20	増養殖
	養殖漁場環境調査	養殖漁場における水質及び底質の推移を把握し、その結果を基に適正な漁場利用を促進する。	S54～	環境増養殖	
	有害・有毒プランクトンの被害防止対策	有害・有毒プランクトンの発生状況調査を行い、その結果を基に関係機関と連携した有害・有毒プランクトンによる被害防止を図る。	S54～	環境増養殖	

試験研究の基本的推進方向	研究課題名	内容	研究期間	担当
県民の暮らしと ちを支える農林水産 生産技術の開発	中山間地域活性化 のための、地域資 源利活用技術	アユ人工種苗の健 苗性評価試験	継代の少ないアユ種苗(F2、F3およびF4) に標識を付けて河川に放流し、河川におけ る冷水病に対する耐病性の有効性と放流 効果を調査することで、放流種苗としての 特性(健苗性)を明らかにする。	H19～ H21 増養殖
	環境と調和した資 源の保全・利用技 術の開発	資源評価調査	ABC(生物学的許容漁獲量)の決定と対象 資源の管理状況把握を目的として、県内主 要漁協における漁獲量やそのサイズを把 握する。	H10～ 海洋生産技術
		底生生物群集の資 源生態把握調査	小型底曳網等の標本船調査および主要漁 協の漁獲統計調査を実施し、過去の情報と ともにデータベース化することにより、紀 伊水道域の生物群集の動態を解析する。	H13～ 海洋生産技術
		包括的資源回復計 画(紀伊水道小型底 びき網漁業)作成推 進調査	平成19年度に計画策定された徳島県小型 底曳網漁業包括的資源回復計画に関し て、その実施に必要な資料収集・解析およ びその効果のモニタリングをおこなう。	H17～ H21 海洋生産技術
		紀伊水道機船船び き網漁業の資源管 理に関する情報提 供事業	カタクチワシシラスの漁況予測に関する データの収集及び解析、漁場形成状況把 握のための餌料生物調査や計量魚探によ る音響調査を実施する。	H17～ H21 海洋生産技術
		海部郡沿岸海藻植 生調査	海部沿岸の海藻植生の変化を調査し、藻 場の現状と変遷を把握することにより、磯 焼けの原因究明と藻場造成に役立てる。	H11～ H21 環境増養殖
		播磨灘南部地区磯 焼け対策緊急整備 事業	播磨灘南部地区に造成される藻場を対象 に、食害対策や浮泥対策、種苗供給等をお こない、効率的なガラモ・カジメ場の造成と 新たに創出された造成藻場を良好に維持 するためのメンテナンス及びそのモニタリ ングをおこなう。	H19～ H23 環境増養殖
		北部海域カジメ藻場 造成技術開発	阿南地区での公共事業による藻場造成計 画に資するため、当該海域におけるカジメ の分布・生態等を調査し、天然藻場の成立 条件を把握すると共に、生態学的特性に基 づいた造成技術を開発する。	H18～ H20 環境増養殖
		カワバタモロコ種苗 生産試験	絶滅危惧種であるカワバタモロコの保護お よび増殖を目的として、本種の種苗生産を 実施する。	H19～ H20 環境増養殖
		貝類及び藻類増殖 付加機能ブロック効 果検証調査	伊島漁港南沖防波堤で使用される貝類、 藻類の増殖機能を付加した消波ブロックの 磯根資源に対する増殖効果を検証する。	H20～ H21 環境増養殖
		海部地区藻場造成 調査	海部地区での藻場造成(公共事業)の計画 策定のため、当該地区での藻場の造成適 地や造成手法の検討、効果算定の基礎 データを作成する。	H19～H 21 環境増養殖
		小型クラゲ被害防止 対策技術開発	小型クラゲ対策漁具を作成し、操業試験を 行う。また、周辺府県と連絡体制を整備 し、クラゲに関する情報を蓄積し解析するこ とによって来遊予測技術を確立する。	H20～ H22 海洋生産技術